

最優秀賞に東北  
支店石巻合材工場

NIPPO、事例  
研究発表会に14編

NIPPOは24日、第4回事例研究発表会を東京都中央区のマツダホールで開いた。全国から約130人の社員が出席した発表会では、コストダウンや品質向上、工期短



縮などにつながる14編の事例発表が行われた。最優秀賞には、東北支店石巻合材工場による「アスファルトプラントの予防的保守管理の取り組み」

が選ばれた。対象14編は、全国の10支店で昨年行われた発表会で報告された91編の中からえりすぐられた10編と、合材・環境・建築・エネルギーの各部門から推薦された4編。冒頭、水島和紀社長は「われわれを取り巻く環境は厳しさを増し、前期比減収減益となっている

のが現状で、会社としては生き残りをかけた対応を早急に実施している。このような状況下で勝ち残るには、社員一人一人の能力、努力、ノウハウの積み重ねが重要であることを再度認識してほしい」と述べ、事例発表の水平展開を呼びかけた。発表は15分間のプレゼ

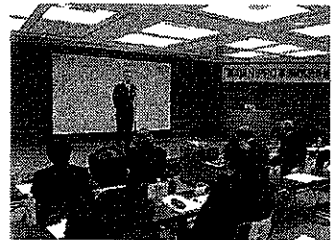
ンテーションと5分間の質疑応答で行われ、活発に意見を交わす場となった。最優秀賞のほか、優秀論文賞にはエネルギー事業部の「工程短縮のための工法検討」、優秀プレゼンテーション賞には関西支店の「躯体工事における改善事例」が選ばれた。

学んだことの水平展開を

事例研究発表会全国大会

NIPPO

NIPPOは24日、東京都中央区のマツダホールで「第4回NIPPO事例研究発表会」を開催し、全国から社員ら約130人が出席した。今回の全国大会では、昨年から秋にかけて全国10支店で行われた発表会で報告された91編の中から選りすぐられた10編と、合材・環境・建築・エネルギーの各部門から推薦された4編の計14編が発表された。発表論文は、事前に査読・審査される



とともに当日のプレゼンテーションが加味され、最優秀賞、優秀論文賞、優秀プレゼンテーション賞を選出・表彰した。発表会の冒頭、水島和紀社長は、「取り巻く環境は厳しさを増し前期比減収減益の中、会社として生き残りをかけた対応を早急に実施している。会社が勝ち抜くための原

点は何か。社員一人ひとりの能力・努力、ノウハウの積み重ねが最も重要であることを再度認識してもらいたい。発表内容は、コストダウンや品質向上、工期短縮など多岐にわたっており、それら

の能力・努力、ノウハウの積み重ねが最も重要であることを再度認識してもらいたい。発表内容は、コストダウンや品質向上、工期短縮など多岐にわたっており、それら

建設通信新聞  
平成23年1月26日掲載

日刊建設工業新聞  
平成23年1月26日掲載

自らの現場や  
支店に水平展開

NIPPOが  
事例研究発表会

NIPPOは24日、第4回NIPPO事例研究発表会を東京都中央区のマツダホールで開いた。全国から約130人の社員が出席した。4回目を迎える今回の全国大会は、全国10支店で行った発表

会で報告された91編の中から選んだ10編と合材・環境・建築・エネルギーの各部門から推薦された4編の計14編を発表した。東北支店石巻合材工場の武田健一氏による「アスファルトプラントの予防的保守管理の取り組み」が最優秀賞を受賞した。



能力、努力、ノウハウの積み重ねが最も重要であることを再度認識してほしい。発表会ではコストダウンや品質向上、工期短縮など内容は多岐

にわたる。それらの一つひとつをよく聴いて学び、自分の現場、支店に水平展開してほしい」と求めた。写真。発表された論文は、舗装・土木・建築の技術・工法についてや、それらの施工事例、工事現場・合材工場での工事・製造における取り組み方やその考え方など多岐にわたった。論文は役員や本社長らが事前に査読・審査し、ま

た当日のプレゼンテーションも加味し、最優秀賞、優秀論文賞、優秀プレゼンテーション賞として表彰した。優秀論文賞はエネルギー事業部機械設計グループの吉良博氏による「工程短縮のための工法検討」、優秀プレゼンテーション賞は関西支店建築事業部の森崎達朗氏による「躯体工事における改善事例」がそれぞれ選ばれた。

建設産業新聞  
平成23年1月26日掲載